

学習内容と到達目標

👉 時代の変化とともに人々の生活や社会制度がどう変わったのかを説明する。

前半： [1. INTRODUCTION] ～ [6. COMPOSITION] (人々の生活や社会制度の変化)

後半： [7. LISTENING] ～ [9. SPEAKING] (写真や絵の説明)

指導のポイント

1. INTRODUCTION

第12課でも述べたように『J.BRIDGE』は日本語自体の学習とともに、日本に関する様々な事柄(たとえば歴史)も学ぶことを目的とした教科書なので、①では「～ていた」や「～ようです」がうまく使えるかどうかだけでなく、内容についてもきちんと覚えているかどうか確認する。②は12課の復習ではなく、これから学習する19課の話題提供。

2. SPEAKING

使役の導入を目的とした練習。①では(特に最初の2枚の絵で)王様が国民に何かを命じていることに気づかせる。その後、②で内容を確認し、③で言語形式に注意を向けさせる。

3. FOCUS

①で使役形の作り方について考えさせ、②と③で自分の理解に正しいかどうか確認する。④では、以下のように、他動詞の場合には行為者が「に」で明示され、自動詞の場合には「を」で明示されることを確認。

例1. 息子がそうじをする → 息子**に**そうじをさせる

例2. 友だちが怒る → 友だち**を**怒らせる

⑤は使役文と受益文の意味の違いを考えさせる練習。以下の例のように使役文では助詞「に」で明示される子供は行為者であるのに対し、受益文では受益者となる。

使役文：親は子供に車を洗わせた

受益文：親は子供に時計を買ってあげた

4. READING

①ではイラストを見て話の内容を予測させる。その後、②で本文をじっくり読ませ、内容を確認する。身なりや食文化の変化など、イラストで表現されていない内容についても質問し、理解を確認するようにする。

注1. イラスト4は、本文では使役形を使わず、「人々は自由に結婚できるようになった」と変化の表現を使っている。

注2. イラスト8の「禁酒令」は間違い。

注3. イラスト9は、本文では使役形を使わず、「開通した」とただ事実だけを述べている。

5. SPEAKING

その場ですぐに話せる内容ではないので、事前に調べさせておく。

7. LISTENING

①では絵を見て「何をしているところか」を話させる。その後②で CD を聞き、トムさんが説明した順番を聞き取らせ、③で内容を確認する。

8. FOCUS

いずれも単純な活用の練習なので、難なくできるはず。

9. SPEAKING

歴史がテーマの課なので、昔の人々の生活が描かれた絵や写真を探させるようにする。

授業で使えるリソース

- ☞ 歴史をテーマとした授業をする時どうしても問題になるのが、当時の人々の生活や社会状況を具体的にイメージしにくいという点。12 課ではドラマ「仁-JIN-」を紹介したが、[7. LISTENING] で取り上げた明治時代の錦絵なども効果的。